

令和3年度 港南区 運営方針期末振り返り

～ 愛あふれる♥ふるさと港南に ～

基本目標

- ・ 地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」
- ・ 区民生活の基本となる「行政サービスを正確・丁寧に提供する区役所」

主な事業・取組の期末振り返りの状況

1 安全・安心のまちづくり

自分の身は自分で守る「自助」、となり近所の助けあいなどの「共助」への理解が進むような啓発を積極的に行い、地域・事業者との連携により、安全・安心のまちづくりを進めます。

【具体的な取組】

災害に強いまちづくり

- ・ 地域防災拠点や風水害避難所への感染症対策物品の配備を進めます。
- ・ 災害発生時に避難所開設情報などを電話でお問い合わせいただける情報発信システムを強化します。
- ・ 食料や飲み水の備蓄に加え、トイレパックの備蓄や家具転倒防止対策の充実により、いざという時にも住み慣れた自宅での避難ができるような「在宅避難」の備えをPRします。
- ・ 夏休みの小学生向け防災イベントや改訂版「港南区防災ガイド(小学生・中学生編)」を活用した授業により、子ども・子育て世代の地震や風水害等に対する防災力アップに向けた取組を実施します。
- ・ 「みんなにやさしい避難所づくり」をテーマとしたワークショップの実施により、要援護者や女性の視点を取り入れた地域防災活動の支援を行います。
- ・ 地域防災拠点でのペット同行避難訓練への支援や、災害時のペットに関する啓発パネル展を行います。

【達成状況】

- ・ 風水害避難場所に加えて全ての地域防災拠点にもプラスチック段ボール製間仕切りを配備できるように、180セット追加して合計310セットを配備(7月)。
- ・ 従来の仕組みに加え、指定の電話番号に架電すれば、どなたでも災害発生時の避難所開設情報などを確認できるように、緊急時情報伝達システムを強化(12月)。
- ・ 広報よこはま防災特集(9月)、出前授業や各種研修等を活用し、「在宅避難」の重要性や備えについて周知。
- ・ コロナ禍での開催を見据え、防災講演会を録画配信形式で実施(1/17～3/31配信、通常版642回、手話通訳版192回視聴)。
- ・ 子ども・子育て世代に対する防災啓発のため、区内の小・中学校に「港南区防災ガイド」を配付(約8,000部)。区内の小学校で防災授業を実施。
- ・ 地域防災拠点向けに「みんなにやさしい避難所づくり」をテーマとしたワークショップの実施(2拠点合同で12月に開催)。
- ・ 地域防災拠点でペット同行避難の受付訓練を実施。
- ・ 動物救護病院一覧を含むマップを更新(5月)。
- ・ 区民ホール、港南台バース、京急百貨店及びイトーヨーカドー別所店にて、災害時の同行避難に必要な物品等やパネルを展示し、ペット手帳等を飼い主へ配布。

「もしも」の見守り・支えあい

- ・ いざというときに、災害時要援護者(避難誘導や避難生活などで支援が必要な方)への支援が円滑に行われるように、地域の中での取組をサポートします。
- ・ 福祉避難所版HUG(避難所運営ゲーム)を作成し、福祉避難所運営訓練の充実を図ります。

- ・ ガイドライン改定に伴い「災害時要援護者支援パンフレット(風水害編)」を改訂(7月)。あわせて音訳版を作成し視覚・視野障害にかかる身体障害者手帳保持者に配布(12月)。
- ・ 障害者団体等との防災懇談会の実施(11月)。
- ・ 福祉避難所版HUGカードの作成・配布(3月)。

防犯・交通安全の推進

- ・ 特殊詐欺の被害や子ども・高齢者の交通事故を防ぐため、地域や警察と連携した取組を進めます。

- ・ 港南公会堂前で、規模を縮小し複数日に分散する工夫をして啓発キャンペーンを実施(7月、8月)。
- ・ 港南台バースで開催された港南台イロドリフェスタにて港南警察署・港南消防署と協力して、安全安心まちづくりのブースを設置し、啓発活動を実施(10月)。

	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の金融機関、コンビニエンスストアと協力し、特殊詐欺防止に係るのぼり旗の掲出を実施（12月）。 ・区内小学校（21校）、港南警察署に交通安全と港南ひまわり83運動の横断幕を設置（1月）。
ICT 活用の推進 ・地域でのつながりづくりの新たな仕組みとして、オンライン会議など ICT の活用を検討する自治会町内会に対し、ICTに関する相談・支援や機器導入費の補助などを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・連合町内会、単位町内会におけるICTの活用について、継続して活用していく環境を整えられるようコンサルティングを実施（7団体）。 ・オンライン会議等を行うためのパソコン・タブレット・カメラ・マイク等の購入、自治会町内会館の通信回線工事等に対して補助を実施（19団体）。
2 見守り・支えあいのまちづくり 向こう三軒両隣に「お互い様」の関係ができ、いざというときにも助け合えるよう、様々な担い手による見守り・支えあいの輪が広がるような取組を進めます。	
【具体的な取組】	【達成状況】
日頃の見守り・支えあい <ul style="list-style-type: none"> ・ふだんの生活の中で登下校時の子どもを見守る環境づくりを行う「港南ひまわり83（ハチサン）運動」を地域全体で進めます。 ・「あいさつ」や「声かけ」をきっかけにした、ゆるやかな見守りに協力してもらう 見守り協力事業者への呼びかけを地域ケアプラザと連携して進め、事業者の皆さんの取組を「まちの見守り通信」として発信します。 ・高齢者・障害者の万が一のお守り「ひまわりホルダー」の周知を進めます。 ・世界アルツハイマーデー（9月21日）に合わせたバス車内広告などにより、認知症への理解と見守りを行う取組を進めます。 ・障害理解啓発ポスターなどを活用した啓発や、誰もが一緒に楽しめる障害者スポーツを通じた障害者と地域との交流支援など、地域で障害理解を進める取組を行います。 ・熱中症予防を通じた地域のつながりの場「まちの給水所」の支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ神奈川情報番組「ハマナビ」が港南区を特集、港南ひまわり83運動をPR（10月）。 ・港南台バース「港南台イロドリフェスタ」で港南ひまわり83運動をPR（10月）。 ・永谷連合町内会主催「親子で遊ぼうポッポに乗って」イベントに参加、港南ひまわり83運動をPR（11月）。 ・区役所前で区職員が見守り活動を実施（12月）。 ・区内小学校（21校）、港南警察署に交通安全と港南ひまわり83運動の横断幕を設置（1月）。【再掲】 ・「まちの見守り通信」を2回発信し、見守り協力事業者の取組を周知するとともに、事業者への呼びかけを地域ケアプラザと連携して推進（新規登録34事業所）。 ・障害者版ひまわりホルダーの取組を周知（新規登録30名、1事業所）。 ・港南区内を運行する430台のバスに9月1日から9月30日まで車内広告を掲載。 ・見守り協力事業者や小学校に、障害理解啓発ポスターの掲示を依頼（約375か所）。 ・障害理解啓発クリアファイルに、障害理解促進のためのメッセージシートをはさみ区内中学生に配布（約1,600部）。 ・「まちの給水所」について、感染症対策を講じた上で、区内15か所で実施。

3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり

「健康アクションこうなん5」の実践を呼びかけ、誰もが健やかに、健康寿命を延ばす取組を進めます。また、医療・介護・介護予防・生活支援等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。

【具体的な取組】	【達成状況】
<p>健康アクションこうなん5の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・働き世代の健康づくりを進めるため、事業者の皆さまと一緒に「健康経営」に取り組みます。・野菜摂取量を測定できる「ベジメータ」を活用し、野菜を通じた健康づくりを支援します。・「健口体操」のリーフレットや動画により、オーラルフレイル（お口の機能の低下）の予防・啓発を進めます。・がん検診受診率向上のため、受診勧奨リーフレットを区内医療機関で配布するほか、働き・子育て世代に向け、区役所肺がん検診においてインターネットでの受付や一時保育を実施します。	<ul style="list-style-type: none">・健康経営認証を取得したメリットを感じてもらえるよう、区がFacebook等を活用し積極的に情報発信を行うとともに、更新手続が必要な事業所に対し重点的に支援（区内健康経営新規認証事業所：53事業所）。・「ベジメータ」を使った野菜摂取量の測定会を、食育月間や乳幼児健診、地域での健康啓発事業等で実施し1,000名以上を測定。・港南区ウェブサイトで、「健口（けんこう）体操」のリーフレットと動画を掲載するほか、地域での出前講座を実施。
<p>切れ目のない子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none">・妊娠期から出産、乳幼児期、就学時にわたり、子育てに関する相談など親子に寄り添った切れ目のない支援を充実させていきます。・主に就学前の子育ての不安・負担感を軽減し、地域での子どもの健やかな育ちを支えるため、養育者や支援者に合わせた内容を情報発信し、子育て支援の充実に向けた取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で親子が集える機会が減少している現状を踏まえ、育児不安軽減のため、HPでの情報発信やICTを活用した育児講座を実施。・養育者が身近な居場所で育児相談できるよう、支援者のスキルアップを図るため、ペアレントトレーニングを活用した研修会を実施。・コロナ禍で対面での説明が困難な中、小学校入学にあたっての不安を解消すべく、放課後キッズクラブや放課後児童クラブ等に関するよくある質問をまとめた資料を就学通知とあわせて送付。
<p>高齢者が自分らしく暮らせるような介護予防と支援</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者が自分らしく安心して生活できる地域づくりを進めるため、認知症や介護予防、権利擁護の普及啓発を行います。・買い物が困難な高齢者等の支援を目的として、事業者と地域が連携した移動販売を支援します。また、移動販売を通じて、外出機会の促進や社会参加、介護予防等につながる取組を進めます。・「移動販売」や「まちの給水所」の実施場所にベンチを配置し、日常的な集い・交流の場「まちの縁側」づくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none">・認知症の方への正しい理解と接し方を啓発するため、集合形式とオンラインを併用して区民向け講演会を実施（11月）。・介護予防を推進する人材のスキルアップやモチベーションを高めるため、体操指導者研修会を実施（10月、11月）。・エンディングノートの普及啓発を図るため、映画上映会、書き方講座を実施。・区内30か所で実施されている移動販売を支援し、地域の見守り支援を推進（10月）。・「まちの縁側」として、区内4か所にベンチを設置し、交流の場づくり支援を実施。

4 住み続けたいまちづくり

SDGs の視点をふまえ、地域の美化活動やごみの減量化、食品ロス削減、プラスチック対策、地球温暖化対策等の普及啓発を行います。また、歩行者の安全に配慮したまちづくりを進めるとともに、まちの魅力を発見・発信し、地域への愛着を高める取組を行います。

【具体的な取組】	【達成状況】
街並みのクリーンアップ ・河川のクリーンアップや、道路・公園など地域の中で美化活動をする皆さんの取組を支援します。	・公園愛護会への各種講習や花壇づくり・樹名板づくり等支援を実施（6公園）。 ・ハマロードサポーターに活動支援物品を配布（28団体）。 ・2か所、3回の河川クリーンアップを分散・縮小開催（参加者 600名以上、回収量 4,040kg）。 ・地域の美化推進連絡協議会と連携し、上永谷駅前広場ベンチに啓発シールを設置（11月）。
ヨコハマ3R夢プランの推進 ・フードドライブ(未使用食品を福祉施設や団体等に寄贈する活動)、ローリングストック法(食品を使った分だけ新しく買い足し、常に一定の量を備蓄しておく方法)を活用した食品ロスの削減を中心としたごみの減量化・3Rを推進します。 ・講演会の開催等によりプラスチック削減に向けた啓発を進めます。	・地域スーパー店頭や小学校、保育園での3R夢啓発を実施（計16回）。 ・区役所及び港南事務所にフードドライブ窓口を常設し、1,033件、340kg受付。 ・食品ロス削減講演会を開催(10月、12月)。 ・プラスチック削減啓発講演会を開催（7月）。 ・動画版ポスターコンクール【3R夢動画コンテスト】を実施（8月）。応募総数32作品、優秀11作品選定し配信（11月）。
歩行者の安全に配慮したまちづくり ・公道の階段に手すりの設置・補修を行うことなどで、安心して外出できる環境づくりを進めます。 ・子どもたちの安全を確保するため、通学路の安全施設や路面表示の新設・補修を進めます。	・公道の階段への手すり設置（7か所）。 ・通学路の安心カラーベルト新設・補修（約2,040m）。 ・交通安全施設等補修（3か所）。
まちの魅力発信 ・「港南区デジタル観光マップ」による情報発信や、子どもたちによるまちの魅力発見を進めます。	・こどもまち自慢の写真とコメントを募集し、投稿スポットを港南区デジタル観光マップに掲載（応募数30か所）。 ・こどもまち自慢のパネルを区内5か所で展示（港南台バーズ、港南公会堂、上大岡駅、区役所区民ホール、京急百貨店）。 ・港南区デジタル観光マップをPRするチラシを新しく作成し、転入者セットで配布。
正確・丁寧な行政サービスの提供 新型コロナウイルス感染症対応を最優先の業務としてとらえ、区の総力を挙げて取り組んでまいります。区民の皆さまを心をこめて温かくお迎えし、「来てよかった」と感じていただける区役所づくりを進めます。区民生活の基本となる行政サービスを、お一人おひとりの気持ちに寄り添い正確・丁寧に提供します。	
【具体的な取組】	【達成状況】
新型コロナウイルス感染症への対応 ・感染症に関する情報提供や相談対応、区庁舎等における感染予防などに区を挙げて取り組みます。	・職場間の応援体制を整え全庁的に取り組み、年末年始を含め、各種相談対応や発生届に基づく本人への聞き取り、健康観察、入院、宿泊施設調整及び安否確認など、健康福祉局や医療機関と連携して実施。 ・正確、丁寧な情報提供の取組として、区ウェブサイトによる案内や新型コロナウイルス感染症に係る濃厚接触者向け動画を配信。 ・感染症の予防啓発の取組として、小中学校、高齢者施設等の区内施設に対し、予防啓

	<p>発チラシを配付。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種にかかる集団接種会場の調整や区庁舎相談窓口の対応を関係機関と連携して実施。
<p>区民生活の基本となる行政サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手続きが関連する窓口が連携し、区民の皆さまの利便性向上に努めます。 	<p>令和3年度に港南区に寄せられた「市民の声」では、区役所の対応が親切、丁寧であったなど、様々なお褒めの言葉が寄せられています。結果を励みとして、引き続き窓口サービスの向上に努めます。</p>
<p>支援を必要としている方々への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各窓口や関係機関が連携して各種制度を的確に運用し、一人ひとりに寄り添った支援を行います。 ・支援に関わる職員がお互いに学び合い、職員力・組織力を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーカー会議、福祉保健センター看護職会議では、課を超えた連携と相談に対応する支援技術の向上を図るため、情報共有と研修を実施。 ・各種制度の理解を進めるための講座や支援力を高める関係機関との研修を随時開催。 ・支援調整会議の開催など区役所内外の関係機関との情報共有・連携強化を進め、支援を必要としている方へ多方面からのアプローチを実施。
<p>わかりやすい情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の皆さまに「寄り添った」窓口対応、「伝わる」広報に取り組みます。 ・広報よこはまや区ウェブサイトなど様々な媒体を活用して適切・的確な情報発信を行うとともに、イベント情報や開催の様子等についても積極的に区民の皆さまにお知らせします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま区版、ウェブサイト、区民生活・防災マップ等を活用し、区政情報や生活に必要な情報などをわかりやすく提供。 ・区ウェブサイトにて区民の皆さまの活動や地域イベントの様子などを紹介する「まち・ひと・ダイアリー」を新設し、情報を発信。 ・新たな発信ツールとして、地域密着型アプリ「ピアッサ」の公式アカウント取得やツイッターにより区政情報を発信。